

<p><b>本時の目標</b></p> <p>・パワーポイントの共同編集機能を用いて、グループで研究発表スライドを作成する。</p> <p>※随時、他の人のスライドを見ながら、グループ全体として研究内容の要点が発表スライドに含まれているか確認しながら作業を進める。</p>	校種・学年	高校・3年
	教科・領域	水産・課題研究
	アプリ・ソフト	・PowerPoint ・Teams
	備考	

○本時の展開

	○学習活動（◆指導上の留意点）
導入	<p>○過去の発表データを閲覧し、本時の目標を確認する。</p> <p>◆スライドのデザイン、構成等を決定する。</p>
展開	<p>○写真や研究データをパソコンに取り組み、発表内容を共有しながらパワーポイントの発表データを作成していく。</p> <p>◆要点を伝えるのに必要な写真やデータが適切に取り込んでいるか確認する。</p>
まとめ	<p>○グループで発表データの全体構成を確認し、個別の発表原稿を作成する。</p> <p>◆全体を通して視覚的にまとまりのあるデータに仕上がっているか確認する。</p> <p>◆発表内容に沿った適切な発表原稿が作成できているか確認する。</p>

**育成できる情報活用能力**

◎1年間の研究を通して、どのような内容を伝える発表スライドを作るか見通しを立てることができる。

**育成できる情報活用能力**

◎複数の情報から、自らの課題や目的に応じた選択をし、課題解決の計画を立てたり、評価・改善したりすることができる。

**育成できる情報活用能力**

◎プレゼンテーションソフトによって1年間の研究内容を表現・発信、創造することができる。



**生徒の感想**

- ・共同編集作業を使うと非常に早く発表スライドを作製することができた。
- ・自分の発表スライドを作製している時に他の人のデータを見ることができるので便利だった。

**<情報活用能力の育成とその効果>**

- ・グループでのデータ処理を円滑に行うことができ、効果的に研究の自己表現力を育成することができる。
- ・他者との比較によって自ら作成した内容を効果的に振り返ることができる。